

ウェーブロック 米でGM向け車部品 CO₂排出4割減

合成樹脂などの加工、販売を手がけるウェーブロックホールディングスは同社初の米国生産を始めた。米ゼネラル・モーターズ（GM）などにメ

ツキのようにみえる金属調加飾フィルムを供給する。メッキ使用時より二酸化炭素（CO₂）の排出量を最大4割程度減らせるとして、販売先を広げる。

子会社のウェーブロック・アドバンスト・テクノロジ（東京・中央）

が約4億円を投資し、米オハイオ州に工場を設けた。年間で大きい部品は

車両20万台分、エンブレムは50万台分の部品を生産する。米中対立などを

背景に米政府が重要技術や製品の国内調達を進めていることから、米国生産を始めた。

GMや新興の自動車会社に車両下側の損傷を防ぐスキッドプレートやエ

ンブレムを生産する。GMのシボレーなどの車種に使用される。

金属調加飾フィルムはメッキ塗装などの代わりに用いる。メッキなどと

比べて生産過程に使う水や電気の量が少ないため、環境への負担を軽減する。軽量化も特徴で

電気自動車（EV）の航続距離を伸ばす可能性もある。フィルムであるこ

とから電波や光を透過でき、金属調加飾フィルムは

同社以外も手がけている。ウェーブロック・アドバンスト・テクノロジ

の島田康太郎社長は自社製品について「耐久性が高いため外装部品に使うことができ、日本のメ

ーカーであることから丁寧さや安全性に自信をもっている」と話す。